平成20年３月期　第１四半期財務・業績の概況

平成19年８月１日

上 場 会 社 名　積水化成品工業株式会社　　上場取引所　東京・大阪（市場第１部）
コ ー ド 番 号　4228　　ＵＲＬ　http://www.sekisuiplastics.co.jp
代　　表　　者　役職名　代表取締役社長　　氏名　小　野　　惠　造
問合せ先責任者　役職名　経　理　部　長　　氏名　沼　倉　　克　則　ＴＥＬ　（ 06 ）6365－3022

（百万円未満切捨て）

１．平成20年３月期第１四半期の連結業績（平成19年４月１日　～　平成19年６月30日）

(1)　連結経営成績　　（%表示は対前年同四半期増減率）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期（当期）純利益
	百万円　%	百万円　%	百万円　%	百万円　%
20年3月期第1四半期	23,208（　6.9）	279（△46.5）	268（△46.7）	91（△55.9）
19年3月期第1四半期	21,720（　3.4）	522（　4.0）	503（△ 8.6）	208（△30.4）
19年3月期	94,896	3,174	2,924	1,868

	１株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期（当期）純利益
	円　銭	円　銭
20年3月期第1四半期	0.93	―
19年3月期第1四半期	2.11	―
19年3月期	18.92	―

(2)　連結財政状態

	総　資　産	純　資　産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円　銭
20年3月期第1四半期	94,644	47,860	49.7	477.72
19年3月期第1四半期	89,909	47,106	51.4	475.95
19年3月期	94,869	48,186	49.9	481.19

(3)　連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	△ 644	△ 895	450	5,011
19年3月期第1四半期	2,121	△ 1,414	△ 930	5,138
19年3月期	8,210	△ 5,397	△2,120	6,089

２．平成 20 年 3 月期の連結業績予想（平成 19 年 4 月 1 日　～　平成 20 年 3 月 31 日）　【参考】

（%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円　%	百万円　%	百万円　%	百万円　%	円　銭
中　間　期	48,500（6.3）	1,430（15.9）	1,330（19.0）	750（12.5）	7.62
通　　期	99,500（4.9）	3,730（17.5）	3,530（20.7）	2,030（ 8.6）	20.62

業績予想は、平成 19 年 4 月 27 日公表時から変更しておりません。

３．その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　：　無
(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無　：　有
(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無　：　有

［（注）詳細は、４ページ【定性的情報・財務諸表等】　４．その他をご覧ください。］

※業績予想につきましては発表時現在のデータにより、経営者が現状で判断する一定の前提及び仮定に基づいております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。
上記の予想の前提条件その他の関連する事項につきましては、４ページ【定性的情報・財務諸表等】３．連結業績予想に関する定性的情報　をご参照下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

１．連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期（平成１９年４月１日から平成１９年６月３０日）の日本経済は、堅調な輸出と設備投資により、依然として緩やかな拡大を続けました。しかしながら、発泡プラスチック業界におきましては、当期に入り主要原料価格が軒並み一段高となり、収益環境は厳しさを増しました。

このような経営環境のなか、当社グループは３ヵ年中期経営計画「ＤＡＳＨ５０－ＳｔａｇｅⅡ」の２年目を迎えました。当中間期の収益計画における今年度の原料値上げに関しては、第１四半期後半以降での価格転嫁を前提に、第１四半期計画として、連結売上高２３１億６千万円（前年同四半期比６．６％増）、連結営業利益２億８千９百万円（前年同四半期比４４．６％減）、連結経常利益２億６千４百万円（前年同四半期比４７．５％減）、連結四半期純利益は９千６百万円（前年同四半期比５３．８％減）と策定しました。この計画を達成すべく、汎用製品の製品価格改定に注力するとともに、生産部門のコスト競争力強化、現場力強化に取り組みました。一方で、自動車・デジタル家電向けを中心とした高機能製品については、国内外での拡販と海外への事業展開を進めました。その結果、当第１四半期の連結売上高は、２３２億８百万円（前年同四半期比６．９％増、計画対比０．２％増）と増収になりましたが、高機能製品である「テクポリマー」が売上減となったことなどから、連結営業利益は、２億７千９百万円（前年同四半期比４６．５％減、計画対比３．２％減）、連結経常利益は２億６千８百万円（前年同四半期比４６．７％減、計画対比１．７％増）、連結四半期純利益は９千１百万円（前年同四半期比５５．９％減、計画対比４．３％減）と前年同期比は減益となりましたが、概ね計画に即応した推移となりました。

樹脂事業につきましては、主力の「エスレンビーズ」（発泡性ポリスチレンビーズ）において、売上数量は増加しましたが、想定以上の原料値上げにより、採算が悪化しました。一方、高機能製品では、「ピオセラン」（ポリエチレン・ポリスチレン複合樹脂発泡体）等を素材とした自動車部材やデジタル家電梱包材は堅調に推移したものの、「テクポリマー」（有機微粒子ポリマー）は、光拡散分野での業界在庫調整の影響を受け売上が減少しました。この結果、樹脂事業の連結売上高は９３億８千９百万円（前年同四半期比１０．８％増）、連結営業利益は８千６百万円（前年同四半期比７４．４％減）となりました。

シート事業につきましては、主力の「エスレンシート」（発泡ポリスチレンシート）は、食品トレー向け一般シートの不振により、売上数量は減少したものの、前年度の価格改定により売上金額は増加しました。また、子会社関連は業界競争激化により収益が悪化しました。この結果、シート事業の連結売上高は１０３億７千８百万円（前年同四半期比２．８％増）、連結営業利益は２億６千１百万円（前年同四半期比４．０％減）となりました。

建材事業につきましては、主力の「エスレンフォーム」（押出発泡ポリスチレンボード）などの不振により建材分野の売上が減少しましたが、「ＥＰＳ土木工法」（軽量盛土工法）などが好調で土木分野は売上が大幅に増加しました。この結果、建材事業の連結売上高は２３億６千７百万円（前年同四半期比１９．５％増）、連結営業損失は５千９百万円（前年同四半期営業損失１億１千４百万円）となりました。

その他事業につきましては、ファーストフード向け「パルプ容器関連商品」や「アパミクロン」（非晶質リン酸カルシウム）を用いた機能性フィルター商品の売上が減少したことなどから、連結売上高は１０億７千３百万円（前年同四半期比７．６％減）、連結営業損失は１千万円（前年同四半期営業利益２千６百万円）となりました。

２．連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期末における総資産は、９４６億４千４百万円（前連結会計年度末比２億２千４百万円減）となりました。資産の部では、流動資産が現金及び預金の減少等により７億７千４百万円減少したのに対し､固定資産は投資有価証券の増加等により５億５千万円増加しました。一方、負債の部では、長期借入金から短期借入金への振替などにより、流動負債が７億１千２百万円増加したのに対し、固定負債が６億１千万円減少しました。純資産は、４７８億６千万円となり、３億２千６百万円減少しました。自己資本比率は４９．７％となりました。

当第１四半期におけるキャッシュ・フローの状況は、営業活動によるキャッシュ・フローは､売掛債権の減少額が縮小したことなどにより､前年同期に比べ２７億６千５百万円収入が減少し､６億４千４百万円の支出となりました｡投資活動によるキャッシュ･フローは､有形固定資産の取得による支出が減少したことなどにより､前年同期に比べ５億１千８百万円支出が減少し、８億９千５百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは､長期借入による収入が増加したことなどにより､前年同期に比べ１３億８千万円支出が減少し、４億５千万円の収入となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第１四半期末残高は５０億１千１百万円(前連結会計年度末比１０億７千８百万円減)となりました。

３．連結業績予想に関する定性的情報

当第１四半期に高騰した原料の製品価格転嫁については、第２四半期で浸透し採算が改善される見込みです。また、「テクポリマー」光拡散関連の業界在庫調整も一巡し、第２四半期では売上が回復する見込みです。このような状況を踏まえ、中間期及び通期の連結業績予想は平成１９年４月２７日公表の業績予想と変更ありません。

４．その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はございません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用
税金費用の計算基準･･･法定実効税率をベースとして計算しております。
その他影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを用いております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更
当第１四半期より、法人税法の改正に伴い、平成１９年４月１日以降に取得した有形固定資産については､改正法人税法に規定する償却方法により減価償却費を計上しております。
なお、この変更による営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

1.要約四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

期別 / 科目	当四半期（平成20年3月期第1四半期末） 金額	構成比	前連結会計年度（参考）（平成19年3月期末） 金額	構成比	比較増減 金額	前年同四半期（平成19年3月期第1四半期末） 金額	構成比
（資産の部）		%		%			%
Ⅰ.流動資産							
1.現金及び預金	5,213		6,328		△ 1,115	5,502	
2.受取手形及び売掛金	25,086		25,272		△ 185	21,980	
3.たな卸資産	8,461		8,183		278	7,545	
4.その他	2,155		1,908		247	2,693	
流動資産合計	40,917	43.2	41,692	43.9	△ 774	37,721	42.0
Ⅱ.固定資産							
1.有形固定資産	39,305		39,101		204	38,556	
2.無形固定資産	651		648		2	710	
3.投資その他の資産	13,769		13,426		343	12,920	
固定資産合計	53,727	56.8	53,176	56.1	550	52,188	58.0
資産合計	94,644	100.0	94,869	100.0	△ 224	89,909	100.0
（負債の部）							
Ⅰ.流動負債							
1.支払手形及び買掛金	16,851		17,134		△ 282	14,038	
2.短期借入金	6,925		5,498		1,427	6,137	
3.その他	10,207		10,639		△ 432	8,943	
流動負債合計	33,984	35.9	33,272	35.1	712	29,118	32.4
Ⅱ.固定負債							
1.長期借入金	5,300		5,800		△ 500	5,800	
2.退職給付引当金	3,464		3,644		△ 179	4,097	
3.その他	4,034		3,965		69	3,787	
固定負債合計	12,799	13.5	13,410	14.1	△ 610	13,685	15.2
負債合計	46,784	49.4	46,682	49.2	101	42,803	47.6
（純資産の部）							
Ⅰ.株主資本							
1.資本金	16,533	17.5	16,533	17.4	－	16,533	18.4
2.資本剰余金	18,541	19.6	18,541	19.5	－	19,223	21.4
3.利益剰余金	7,842	8.3	8,243	8.7	△ 400	6,913	7.7
4.自己株式	△ 540	△ 0.6	△ 539	△ 0.5	△ 0	△ 1,021	△ 1.2
株主資本合計	42,377	44.8	42,778	45.1	△ 401	41,648	46.3
Ⅱ.評価・換算差額等							
1.その他有価証券評価差額金	3,795	4.0	3,725	3.9	69	3,751	4.2
2.土地再評価差額金	914	1.0	914	1.0	－	914	1.0
3.為替換算調整勘定	△ 47	△ 0.1	△ 37	△ 0.0	△ 10	△ 137	△ 0.1
評価・換算差額等合計	4,661	4.9	4,602	4.9	59	4,528	5.1
Ⅲ.少数株主持分	821	0.9	806	0.8	15	929	1.0
純資産合計	47,860	50.6	48,186	50.8	△ 326	47,106	52.4
負債、純資産合計	94,644	100.0	94,869	100.0	△ 224	89,909	100.0

2.要約四半期連結損益計算書

（単位：百万円）

期別 / 科目	当四半期（自 平成19年4月 1日 至 平成19年6月30日）		前年同四半期（自 平成18年4月 1日 至 平成18年6月30日）		比較増減	前連結会計年度（参考）（自 平成18年4月 1日 至 平成19年3月31日）	
	金額	百分比	金額	百分比		金額	百分比
		%		%			%
Ⅰ．売上高	23,208	100.0	21,720	100.0	1,487	94,896	100.0
Ⅱ．売上原価	18,622	80.2	16,898	77.8	1,724	73,969	77.9
売上総利益	4,585	19.8	4,821	22.2	△ 236	20,926	22.1
Ⅲ．販売費及び一般管理費	4,305	18.6	4,298	19.8	7	17,752	18.8
営業利益	279	1.2	522	2.4	△ 243	3,174	3.3
Ⅳ．営業外収益	153	0.7	97	0.4	56	399	0.4
1. 受取利息及び配当金	85		72		13	159	
2. 持分法による投資利益	－		1		△ 1	0	
3. その他	68		23		44	238	
Ⅴ．営業外費用	164	0.7	116	0.5	48	648	0.6
1. 支払利息	40		26		14	128	
2. 持分法による投資損失	0		－		0	－	
3. その他	124		90		34	519	
経常利益	268	1.2	503	2.3	△ 235	2,924	3.1
Ⅵ．特別利益	0	0.0	3	0.0	△ 2	687	0.7
Ⅶ．特別損失	－	－	10	0.0	△ 10	49	0.0
税金等調整前四半期（当期）純利益	269	1.2	496	2.3	△ 227	3,563	3.8
税金費用	152	0.7	262	1.2	△ 110	1,603	1.7
少数株主利益	25	0.1	25	0.1	0	90	0.1
四半期（当期）純利益	91	0.4	208	1.0	△ 116	1,868	2.0

３.要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

期別 / 科目	当四半期 （自 平成19年4月 1日 至 平成19年6月30日）	前年同四半期 （自 平成18年4月 1日 至 平成18年6月30日）	前連結会計年度（参考） （自 平成18年4月 1日 至 平成19年3月31日）
	金 額	金 額	金 額
Ⅰ．営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期（当期）純利益	269	496	3,563
減価償却費	882	817	3,720
受取利息及び受取配当金	△ 85	△ 72	△ 159
支払利息	40	26	128
売上債権の増減額	594	2,898	△ 735
仕入債務の増減額	△ 371	△ 851	4,115
その他	△ 1,229	△ 1,182	△ 2,078
小計	100	2,132	8,554
法人税等の支払額	△ 824	△ 69	△ 424
その他	79	57	81
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 644	2,121	8,210
Ⅱ．投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 693	△ 1,228	△ 5,223
投資有価証券の取得による支出	△ 220	△ 180	△ 1,056
投資有価証券の売却による収入	1	5	1,012
その他	16	△ 10	△ 130
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 895	△ 1,414	△ 5,397
Ⅲ．財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入れによる収入	1,000	―	―
長期借入金の返済による支出	―	△ 198	△ 631
配当金の支払額	△ 457	△ 410	△ 743
その他	△ 91	△ 321	△ 745
財務活動によるキャッシュ・フロー	450	△ 930	△ 2,120
Ⅳ．現金及び現金同等物に係る換算差額	11	10	46
Ⅴ．現金及び現金同等物の増減額（減少：△）	△ 1,078	△ 212	739
Ⅵ．現金及び現金同等物の期首残高	6,089	5,208	5,208
Ⅶ．新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	―	142	142
Ⅷ．現金及び現金同等物期末残高	5,011	5,138	6,089

４.セグメント情報

［ 事業の種類別セグメント情報 ］

当四半期（自：平成１９年４月１日　　至：平成１９年６月３０日）　　（単位：百万円）

	樹　脂 事　業	シート 事　業	建　材 事　業	その他 事　業	計	消去又 は全社	連　結
Ⅰ．売上高及び営業損益							
売　　上　　高							
(1)外部顧客に対する売上高	9,389	10,378	2,367	1,073	23,208	－	23,208
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	276	68	212	47	606	(606)	－
計	9,666	10,446	2,580	1,121	23,814	(606)	23,208
営　業　費　用	9,580	10,185	2,639	1,132	23,537	(608)	
営業利益又は営業損失（△）	86	261	△59	△10	277	2	279

前年同四半期（自：平成１８年４月１日　　至：平成１８年６月３０日）　　（単位：百万円）

	樹　脂 事　業	シート 事　業	建　材 事　業	その他 事　業	計	消去又 は全社	連　結
Ⅰ．売上高及び営業損益							
売　　上　　高							
(1)外部顧客に対する売上高	8,477	10,099	1,981	1,161	21,720	－	21,720
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	264	29	230	31	555	(555)	－
計	8,741	10,128	2,212	1,193	22,275	(555)	21,720
営　業　費　用	8,404	9,856	2,326	1,166	21,752	(555)	
営業利益又は営業損失（△）	337	272	△114	26	522	0	522

前連結会計年度（自：平成１８年４月１日　　至：平成１９年３月31日）　　（単位：百万円）

	樹　脂 事　業	シート 事　業	建　材 事　業	その他 事　業	計	消去又 は全社	連　結
Ⅰ．売上高及び営業損益							
売　　上　　高							
(1)外部顧客に対する売上高	37,579	42,589	9,992	4,734	94,896	－	94,896
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	1,133	143	934	170	2,381	(2,381)	－
計	38,713	42,733	10,926	4,905	97,277	(2,381)	94,896
営　業　費　用	36,985	41,182	11,128	4,805	94,102	(2,379)	91,722
営業利益又は営業損失（△）	1,728	1,550	△202	99	3,175	(1)	3,174

（注）１．事業区分の方法
製造方法に市場性を加味した事業に区分している。

２．各区分に属する主要な製品の名称

・樹脂事業－　エスレンビーズ、ピオセラン、テクポリマー、テクノゲル、自動車関連資材、産業包装材、その他樹脂関連商品

・シート事業－　エスレンシート、ラミネート、エスレンウッド、ライトロン、その他シート関連商品

・建材事業－　エスレンフォーム、エスレンネダマット、ティエスサンド、エスレンボイド、エスレンブロック（ＥＰＳ土木工法）、ＴＹＫフォーム、その他建材関連商品

・その他事業－　物流資材関連商品、パルプ容器関連商品、その他商品